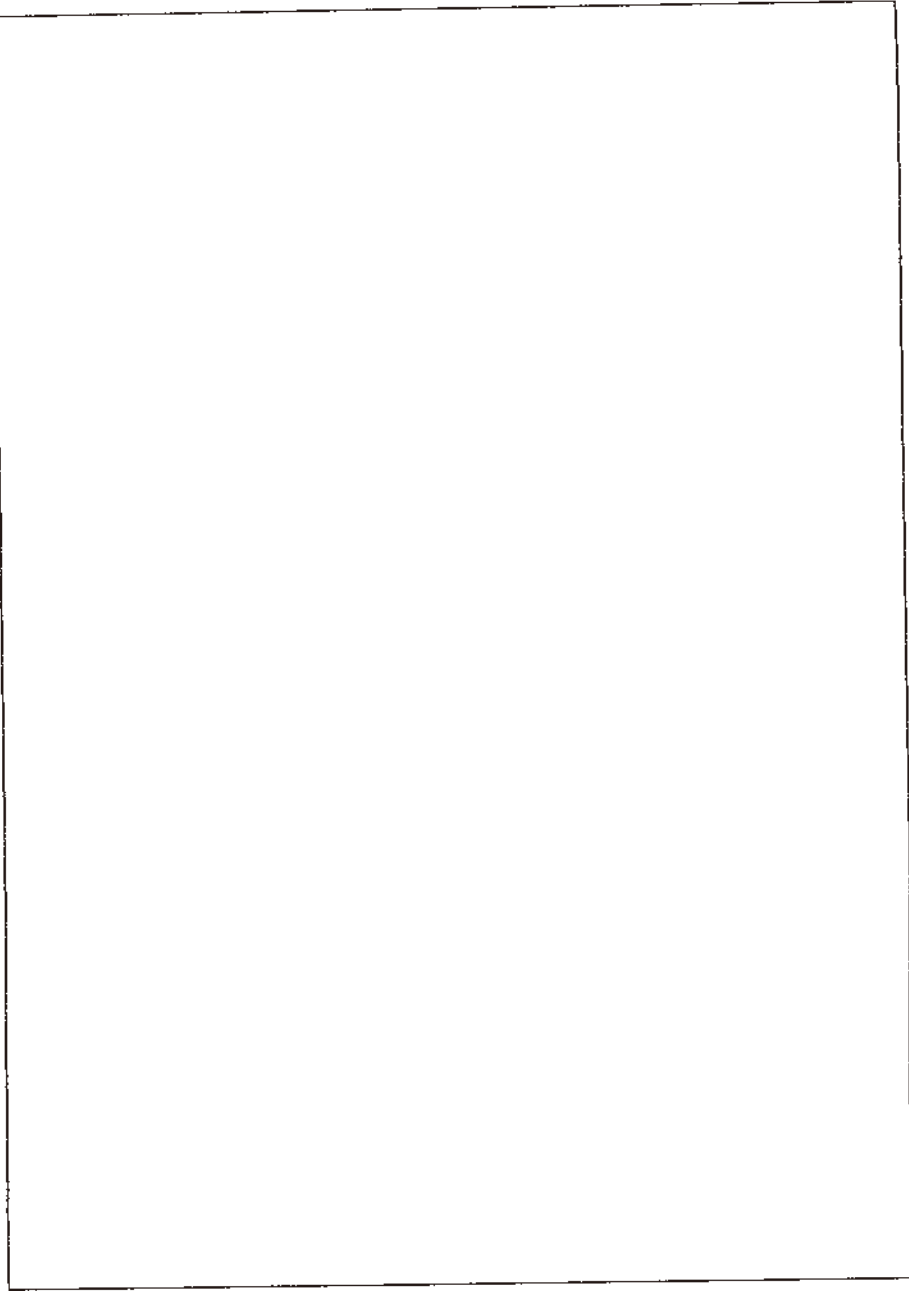


受験番号 ()

() 氏名 ()

平成二十七年年度 社会人入学試験 小論文 問題用紙

次の文章は、二〇一二年一月二十五日の「毎日新聞」に掲載されたコラム「発信箱」の全文です（出題の都合上、適宜表記を改めています）。これを読んで後の問いに答えなさい。



問一 二重傍線部①～⑥について、漢字で（必要な場合はおくりがなも）書きなさい。

問二 「骨」を用いた四字熟語「換骨奪胎」について、その意味を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 困難を強いられる状況であっても、力の限り努力すること。
- イ 他人の作品を踏襲しつつ、独自のものに作りかえること。
- ウ 自分も痛手を受ける代わりに、相手にそれ以上の打撃を与えること。
- エ 労力を費やしたのに効果がなく、結局むだに終わること。

問三 傍線部 A「ミン」とほぼ同じ意味のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 奇抜
- イ 洒脱
- ウ 難点
- エ 趣向

問四 右の文章を読んで考えたこと、または連想したことをもとにして、「終活（＝人生の終わりのための活動）」というテーマで五〇〇字程度の小論文を書きなさい（記入欄は六〇〇字まで設けています）。
葬送に関する話題に限定せず、関心をもっている社会状況や時事問題など、論点は自由に設定してください。

題名を書く必要はありません。一行目から本文を書いてください。

以上

平成二十七年 度 社会人入学試験 小論文 解答

問一 ① 「居心地」 「② 「懇談」 「③ 「乾燥」 「

④ 「名残(り)」 「⑤ 「潔さ」 「⑥ 「環境」 「

問二 「イ」 問三 「エ」 「

- 1
- | | | |
|-----|---------------------------|---|
| (1) | $2x^2 + 5xy - 12y^2$ | ③ |
| (2) | $x^4 - 16$ | ③ |
| (3) | $27a^3 - 54a^2 + 36a - 8$ | ④ |

- 2
- | | | |
|-----|----------------------|---|
| (1) | $(x+3)(x-6)$ | ③ |
| (2) | $(2x+2y+1)(3x+3y-4)$ | ③ |
| (3) | $(x-y+1)(x-y-2)$ | ④ |

- 3
- | | | |
|-------|------|---|
| $c :$ | -7 | ⑤ |
| 最大値 : | 2 | ⑤ |

- 4
- | | | |
|-----|--------------|---|
| (1) | $-2 < m < 2$ | ⑤ |
| (2) | $m < -1$ | ⑤ |

- 5
- | | | |
|-----|-----|---|
| (1) | 0 | ③ |
| (2) | 2 | ③ |
| (3) | 0 | ④ |

- 6
- | | | |
|-----|------------------------|---|
| (1) | $\frac{10\sqrt{3}}{3}$ | ⑤ |
| (2) | $\sqrt{37}$ | ⑤ |

- 7
- | | | |
|-----|---------|---|
| (1) | 720 通り | ⑤ |
| (2) | 1440 通り | ⑤ |

- 8
- | | | |
|-----|-------|---|
| (1) | 90 個 | ⑤ |
| (2) | 420 個 | ⑤ |

- 9
- | | | |
|-----|-----------------|---|
| (1) | $\frac{25}{72}$ | ③ |
| (2) | $\frac{35}{72}$ | ④ |
| (3) | $\frac{37}{72}$ | ③ |

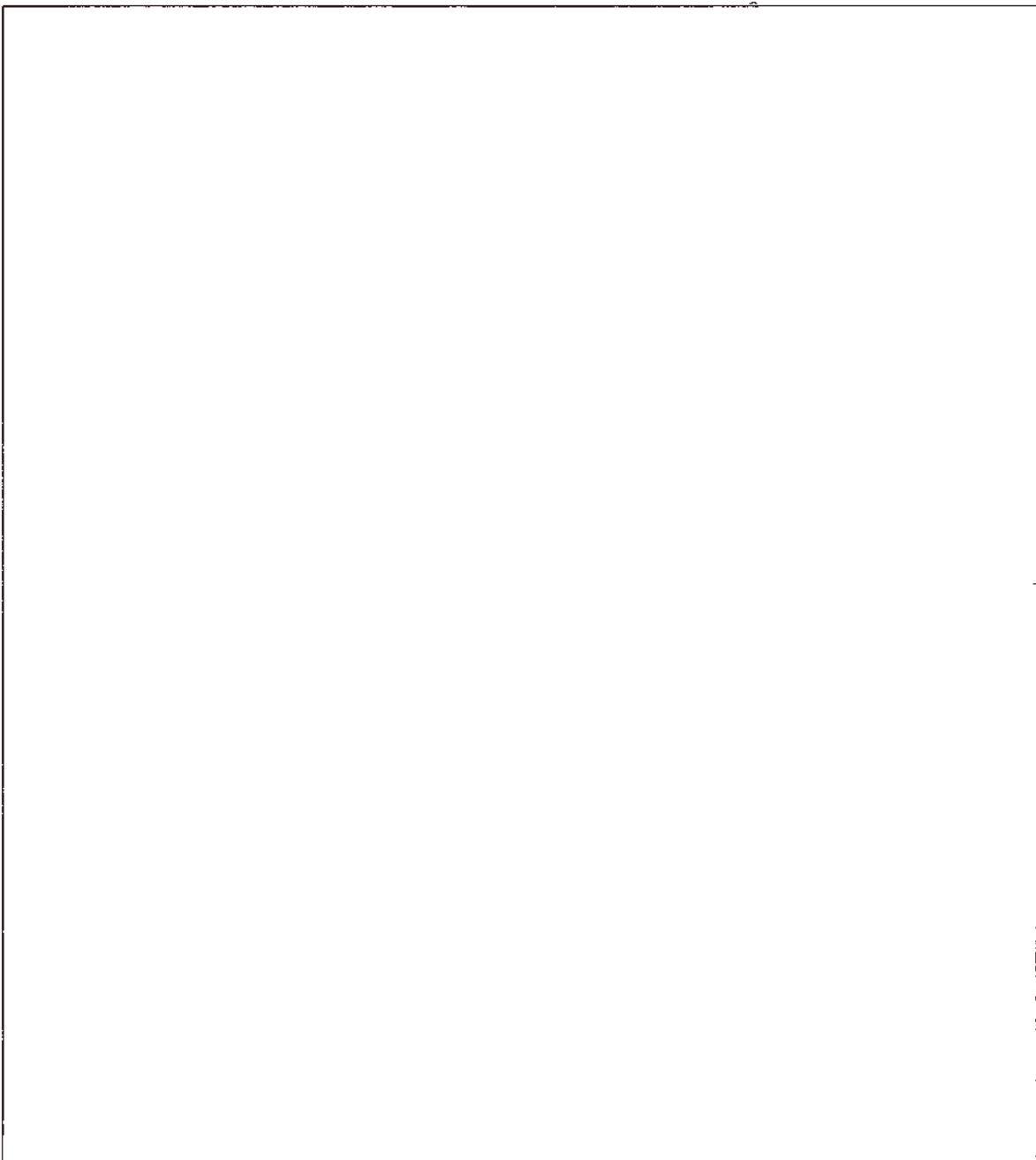
- 10
- | | | |
|-----|---------------------------|---|
| (1) | {4, 6, 8, 9, 10} | ② |
| (2) | {8, 10} | ③ |
| (3) | {1, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10} | ③ |
| (4) | {1, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10} | ② |

配点：各10点
(10点 × 10 = 100点)

受験番号 () 氏名 ()

平成二十七年 前期入学試験 国語総合 問題用紙 その1

【一】 次の文章は、戸井田道三のエッセイ「おいしい仔犬(こいぬ)」の一部です。読んで後の間に答えなさい。
(出題の都合上、適宜字句を改めています。)



問一 二重傍線部①②④⑤は漢字を、③は読みを書きなさい。

問二 に入る語句の組み合わせとして最も適当なものをア～オから一つ選び、記号で

答えなさい。

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| ア | a・おそらく | b・ようやく | c・さんざん |
| イ | a・そして | b・かならず | c・みすみす |
| ウ | a・だから | b・たとえ | c・いよいよ |
| エ | a・ところが | b・おそらく | c・だんだん |
| オ | a・しかし | b・やはり | c・ほとほと |

問三 傍線部Ⅰ～Ⅲの本文中における意味として最も適当なものを、次の各群ア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

I 幽玄

- ア 奥深い味わいや余情
イ すぐに壊れそうな儂(はかなさ)
ウ 正体のわからない不気味さ
エ 機知に富んだおもしろみ

II よくしたもので

- ア 欲を出さずにいたほうがよいので
イ 一応努力はしておいたので
ウ 思いがけないことが起こるもので
エ 自然と都合よくいくもので

III 言語の明晰以前

- ア 人類がまだ言語を獲得していなかった時代
イ 言語の機能がまだ解明されていなかった時点
ウ 感覚がまだ言葉として表されていない状態
エ 感覚と言葉とが適切に対応している段階

問四 次の一文は本文中の「ア」「イ」「ウ」「オ」のどこに入れるのが最も適当ですか。一つ選び、記号で答えなさい。

ただしこれは常用されているあいだに味覚の応用とは認められなくなった。やはり適切な言表として容認されたのであろう。

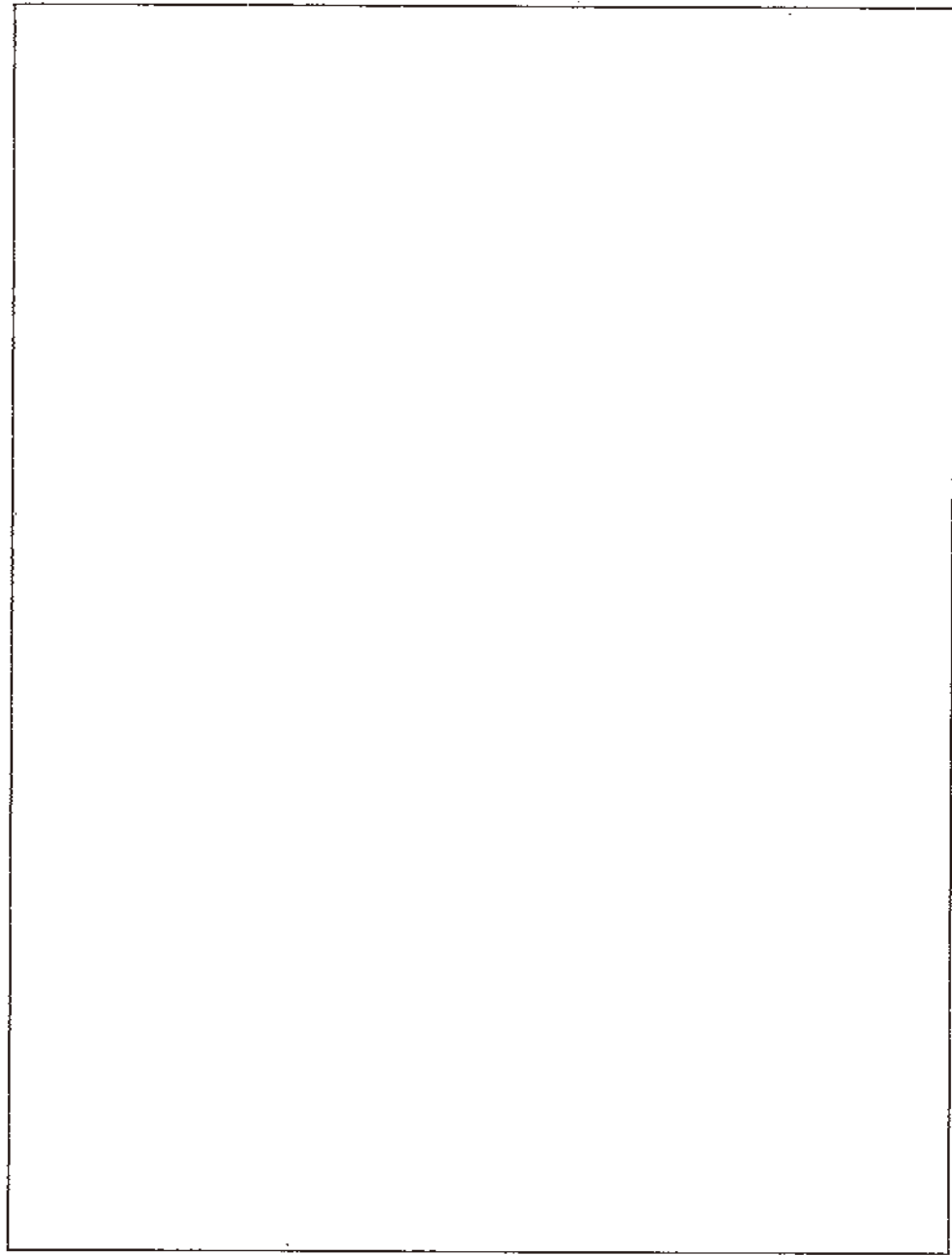
問五 傍線部X「これ以上にうまい表現は不可能とさえ思えた」とありますが、これには筆者のどのような心情がうかがえますか。最も適当なものをア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 間違った言葉でも、この場においては正確な言葉以上の表現力を発揮し得たことに対する感動。
イ 大人でも間違えて使いがちな味覚の表現を、男の子がすでに正しく認識していることへの驚き。
ウ 幼い子にはよくありがちな言い間違えなので、笑ってやり過ごしてやるべきだという思いやり。
エ あえて「かわいい」とは言わず、ひと工夫して表現した男の子の早熟な才能に対する感服。
オ このくらいの年齢の子どもが持つ語彙の範囲では、これ以上の表現は無理だろうという納得。

問六 本文の内容として適当なものには○を、適当でないものには×を、解答欄に答えなさい。

- ア 「思いつき」は演繹や帰納によって論理的に導き出せるものではなく、それゆえに軽視されがちだが、そこには何か創造的な働きかけがあると筆者は述べている。
イ 紅涙という直接的な言葉の使用を避け、「白妙」や「身にしむ色」という言葉から涙の様子を連想させようとした定家の歌には、技術的な試行錯誤がみられると筆者は述べている。
ウ 本を読みながらほかのことを考えはじめることがよくある筆者は、ひとたびそのように脱線するともう本の内容に集中できなくなるので、メモをとりながら読むようにしている。
エ 筆者は「思いつき」をメモしても時間がたつと何のために書いたのか思い出せないことが多いが、それらを思い出すためには苺の新鮮なおいが最も効果的だと述べている。
オ 「苦みばしい男」や「少し甘い女」という言い方は、味覚に使われるべき表現を人物の形容に使っているので、大人が使うのは不適切であると筆者は述べている。

【二】次の文章について、全体の展開を考えながらそれぞれの□にあてはまるものをあとの【選択群】ア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。(出題の都合上、表記を適宜改めています。)



【選択群】

- ア 興味を持った女子の参加を促すにはさまざまな選択肢を示すことが必要だ。
- イ 多くの女子にとって人気モデルのようにやせていて手足が長いのが「理想の女性身体」で、日本には女子は無理して運動しなくてもいいという「暗黙の了解」があり、女子が身体運動をしないことは問題視されてこなかったと指摘する研究者もいる。
- ウ だが、受け入れ先の一つ、学校の運動部活動は参加をためらわせるような環境になっている。試合での結果を求め、週末も練習に明け暮れる運動部が少なくない。
- エ 身体活動をすることによってどんな恩恵があり、しないことによってどんな損失を被っているかを明らかにして、身体活動の重要性を社会全体で共有していくことが重要だ。
- オ こうしたさまざまな恩恵が得られることに気付いていないのは社会の損失と言える。

【三】次のア～トの各問に答えなさい。

- ア 「殊更」の読みをひらがなで書きなさい。
 イ 「重篤」の「篤」と同じ意味で使われているものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ウ 「そでをつらねる」という様子に最も近いものを一つ選び、番号で答えなさい。
 エ 「火」を使ったことわざや慣用表現で正しくないものを一つ選び、番号で答えなさい。
 オ 敬語の使い方が不適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。
 カ 「興味ほんい」の「ほんい」を漢字で書きなさい。
 キ 「長年の経験は貴重である」という意味のものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ク 「びぼう録に書きとめる」の「ぼう」と同じ漢字を用いているものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ケ 「安心する」という意味の「□を高くする」について、□に入る漢字を一つ選び、番号で答えなさい。
 コ 「甚大」の対義語を一つ選び、番号で答えなさい。
 サ 「ばいしよウ責任」の「ばいしよウ」を漢字で書きなさい。
 シ 「げたをあずける」という表現について、その意味に最も近いものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ス 「雪辱」の意味に最も近いものを一つ選び、番号で答えなさい。
 セ 「下」の読みがほかと異なるものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ソ 「具象」の対義語「□象」について、□に入る漢字一字を書きなさい。
 タ 「所作」の読みをひらがなで書きなさい。
 チ 「焼け石に水」という表現について、その意味を一つ選び、番号で答えなさい。
 ツ 「生殺与奪」について、その意味に最も近いものを一つ選び、番号で答えなさい。
 テ 「その話に乗り気になる」という意味の「()」を進める」について、()に入るものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ト 「おこがましい」の使い方でも適切なるものを一つ選び、番号で答えなさい。
 ① クラス全員の前で先生にしかられたのがおこがましくて、思わず涙がこぼれた。
 ② 彼の暴言は許せなかったが、その場ではおこがましい気持ちでぐっとこらえた。
 ③ 代表選手に選ばれた息子のことがおこがましくて、父はあちこちで自慢した。
 ④ 自分のはおこがましいが、他人のすることには不平ばかり言う彼女はおこがましい。
- ① 胸 ② つまさき ③ 背中 ④ 膝
- ① 怒鳴りちらす ② すばやく対応する ③ 冷静になる ④ 役に立たない
- ① 陰謀 ② 尊厳 ③ 随意 ④ 摂理
- ① 希少 ② 膨大 ③ 過小 ④ 軽微
- ① 正装 ② 一任 ③ 宿泊 ④ 競争
- ① リタイア ② リベンジ ③ リアクション ④ リスクマネージメント
- ① 炎天下 ② 下馬評 ③ 下手物 ④ 乱高下
- ① 頭 ② 枕 ③ 床 ④ 窓
- ① 忘却 ② 繁忙 ③ 容貌 ④ 防犯
- ① じゃのみちはへび ② やぶをつついてへびをだす ③ かめのこうよりとしのこう
- ① 明日、担当の者がそちらへ参ります ② その件で、先生からご意見を承りました ③ ご不明な点は、何でもお伺いください ④ いただいた詩集を、さっそく拝読しました
- ① 飛んで火にいる夏の虫 ② 空前のともし火 ③ 火の無い所に煙は立たない ④ 火中のくりを拾う

【一】 配点Ⅱ問一は各2点。問二・問三は各3点。問四・問五は各4点。問六は各3点。

問一 ① 因果
② 体系
③ あらわした

④ 途端
⑤ 秩序

問二 才

問三 I ア
II エ
III ウ

問四 ウ

問五 ア

問六 ア ○
イ ×
ウ ×
エ ×
オ ×

【二】 配点Ⅱ各3点
A エ
B イ
C オ
D ウ
E ア

【三】 配点Ⅱ各2点

タ	サ	カ	ア
しよさ	賠償	本位	ハナクハシ
チ	シ	キ	イ
④	②	④	③
ツ	ス	ク	ウ
③	②	①	④
テ	セ	ケ	エ
④	①	②	②
ト	ソ	コ	オ
④	抽象	④	③

受験番号（

）氏名（

）

平成二十七年 前期入学試験 小論文 問題用紙

【問題】

次の文章は、今年八月八日の朝日新聞に掲載されたコラム「天声人語」の全文です。（出題の都合上、適宜表記を改めています。）

これを読んで考えたこと、連想したこと、または内容に対する賛否などをもとにして、

「科学の進歩と問題」

というテーマで六〇〇字以内の小論文を書きなさい。代理出産や生殖医療という話題に限定せず、あなたが関心をもっている社会状況や時事問題など、論点は自由に設定してください。

題名を書く必要はありません。一行目から本文を書いてください。

